

堺の『今』を あなたの手元に

当選後初の広報紙となる『まつきレポート』を創刊します。議員として日々堺市の課題に向き合う中で、皆さんに伝えたい、知っていただきたい堺市の「今」を厳選してお届けします。皆様からのご意見も頂戴しながら、次の堺に向けて全力で取り組みますので、未長くよろしくお願ひします。

発行人 堺市議会議員

まつき

松木りょう

Top Report

10代の死因の第1位は自殺

学校に自殺対策の専門家を！

若者の死因のトップは自殺

近年、小中高生の自殺者数は増加しており、令和4年度の小中高生の自殺者数は過去最悪の514人となりました。この状況に対してこども家庭庁は『こどもの自殺対策緊急強化プラン』を策定し、各都道府県や政令市に対策の強化を求めています。



リスクの早期発見

学校において1人1台端末を活用した心の悩みなどの把握

的確な対応

若者の自殺危機対応チームの創設と専門機関からの助言

要因分析

若年自殺に関する統計データ等を多角的に分析

対策強化プランの3つの柱

自殺対策に専門家チームを

堺市では今年度に早速自殺対策危機チームを立ち上げ、学校教員に精神科医師や保健福祉士などを加えた専門家チームで、子どもと家庭への支援を強化します。また、子どものSOSを早期発見する仕組みの研究をすすめ、堺市の子どもの自殺0を目標に具体策を進めます。

全国的に増加する不登校児童・生徒

不登校児童・生徒数は、全国的にも急増しており、堺市でも令和4年度調査で小学生811人、中学生1,144人と、約2,000人の子ども達が不登校となっています。

学校に通えない子ども達に学力や生きる力をどう保障するかは、今や教育現場だけに留まらない大きな社会問題となっています。

スクリーニングとチームサポート

私は児童福祉施設で働いてきた経験から、教員が福祉職などの専門家とチームを組んで子どもを支援する仕組みや、リスクケースを早期に発見するスクリーニング調査の重要性を議会で主張し、その具体的な手法について議論しました。

次なる
成長へ

当選後初めて立たせていただいた予算代表質疑の場では、これまでの自分の経験を活かして、自分しかできない質疑をすることができたと手応えを感じています。

一方で、児童福祉以外の分野についても同じくらい深い議論ができるよう、これから政策領域を増やしていかなければならないと感じています。

住民の皆様生の声にたくさん触れて、しっかり勉強していきますので、ぜひ皆様の声をお寄せください。

堺市議会議員 松木りょう



※写真はイメージ

児童養護施設への
教員派遣事業が
スタート

松木の
こだわり！

全ての子どもに学びの保障を

様々な事情から家庭で過ごすことができず一時保護所で生活する子ども達の多くは、安全上の理由などから学校へ通学することが出来ていません。

まずは1人1台端末を活用してオンラインで授業に参加することや、他都市で先行事例のある通学支援員などについても、今後議論を深めていきたいと思っています。

現場で働いてきた自分だからこそ分かる、見落とされがちな子どもたちへの支援に、これからも尽力していきます。

公式HP▶



最新情報は
Xで発信中▶

